

(公印省略)

厚生労働省発政統 0815 第1号
令和5年8月15日

統計委員会委員長
椿 広 計 殿

厚生労働大臣
加 藤 勝 信

諮問第 178 号
国民生活基礎調査に係る匿名データの作成について(諮問)

標記について、別紙のとおり作成するに当たり、統計法(平成19年法律第53号)第35条第2項の規定に基づき、統計委員会の意見を求める。

諮問の概要

(2019年国民生活基礎調査に係る匿名データの作成について)

今回、厚生労働省では、2019年国民生活基礎調査（以下「2019年調査」という。）について、統計法（平成19年法律第53号）第35条第1項の規定に基づき、以下のとおり匿名データの作成を行うことを計画しているところである。

1 国民生活基礎調査について

本調査は、保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び運営に必要な基礎資料を得ることを目的とするものであり、昭和61年を初年として3年ごとに大規模な調査（世帯票、健康票、介護票、所得票、貯蓄票）を実施し、中間の各年は世帯票及び所得票のみの簡易な調査を実施することとしている。

国民生活基礎調査の匿名データは、3年ごとの大規模年の調査を対象に、これまで平成7年、10年、13年、16年、19年、22年、25年及び28年のデータを提供している。

2 匿名データの作成方法の概要

2019年調査の匿名データについては、「匿名データの作成・提供に関するガイドライン」（平成21年2月17日総務省政策統括官（統計基準担当）決定。以下「ガイドライン」という。）の匿名化処理基準に準拠した秘匿措置、並びに過去の答申で提供している平成28年国民生活基礎調査の匿名データAと匿名データB（諮問第148号の答申、令和3年9月29日）に準じて作成・提供する。ただし、社会情勢の変化等を勘案し、当該年次の特性に応じた措置を講じる。（別添1参照）

3 匿名データの種類

2019年調査の匿名データでは、平成28年調査と同様に以下の2種類を作成する。

(1) 匿名データA（世帯票、健康票）

人口、社会統計分野での世帯数の推計分析等を中心とした利用を想定

(2) 匿名データB（世帯票、健康票、所得票及び貯蓄票）

世帯の所得及び貯蓄に関する分析等を中心とした利用を想定

4 その他

匿名データの作成方法については、「匿名データの作成・提供に関するガイドライン」等を踏まえ、総務省統計研究研修所による検証を実施（別添2参照）

別添一覧

別添 1 2019年国民生活基礎調査 匿名データの作成方針

別添 2 2019年国民生活基礎調査 匿名データの審査表

別添 3 2019年国民生活基礎調査の概要

別添 4 2019年国民生活基礎調査 調査票

2019 年国民生活基礎調査 匿名データの作成方針

1 基本的な考え方

本調査の匿名データについては、「匿名データの作成・提供に関するガイドライン」（平成 21 年 2 月 17 日総務省政策統括官（統計基準担当）決定。以下「ガイドライン」という。）の匿名化処理基準に準拠した秘匿措置、並びに過去の答申で提供している平成 28 年国民生活基礎調査の匿名データ A と匿名データ B（諮問第 148 号の答申、令和 3 年 9 月 29 日）に準じて作成・提供する。ただし、社会情勢の変化等を勘案し、当該年次の特性に応じた措置を講じる。

2 作成する匿名データの構成概要

今まで作成を行ってきた国民生活基礎調査に係る匿名データと同様に、以下の匿名データを作成する。

匿名データの種類	調査本体の 標本の大きさ	リサンプリング率	匿名データの 標本の大きさ
匿名データ A	約 21.7 万世帯	約 2 割	約 3.3 万世帯
匿名データ B	約 2.2 万世帯	約 2 割	約 0.5 万世帯

※「匿名データ A」は、「世帯票」、「健康票」の情報を統合したもの

「匿名データ B」は、「世帯票」、「健康票」、「所得票」、「貯蓄票」の情報を統合したもの

3 適用する匿名化処理

本調査では、ガイドラインの匿名化処理基準に準拠した匿名化処理を基本とし、原則として、前回答申の「平成 28 年国民生活基礎調査の匿名データ」の匿名化処理を適用する。ただし、新規の調査項目及び社会情勢の変化により、以下のとおり変更する。

（1）新規の調査項目

【健康票】

- ① 「サプリメントのような健康食品の摂取の有無」は、そのまま提供する。
- ② 「過去 2 年間の胃がん検診状況」は、そのまま提供する。

【所得票】

- ① 「昨年 1 年間の仕送り金額」は、単独世帯は 120 万円以上、二人以上世帯は 160 万円以上トップコーディングとする。

(2) 変更の調査項目

【所得票】

- ① 「企業年金の掛金」は、「企業年金」と「個人年金等」に分離されたため、「企業年金の掛金」は単独世帯 30 万円以上、二人以上世帯は 55 万円以上トップコーディング、「個人年金等の掛金」は単独世帯 36 万円以上、二人以上世帯は 68 万円以上トップコーディングとし、それぞれ提供する。
- ② 「税金＋社会保険」は、その内訳に自動車税等が追加されたため、提供済みの匿名データとの有用性に配慮し、自動車税等を除く「税金＋社会保険」は単独世帯 305 万円以上、二人以上世帯 632 万円以上トップコーディング、自動車税等を含む「税金＋社会保険」は単独世帯 308 万円以上、二人以上世帯 633 万円以上トップコーディングとし、それぞれ提供する。

(3) 社会情勢の変化

【世帯票】

- ① 「子への仕送り」は、調査票データの分布状況を踏まえ、10 万円以上トップコーディングに見直す。

4 その他

- 廃止等の調査項目の変更点は以下のとおり

【健康票】

- ① 「過去 1 年間のがん検診状況」ア. 子宮がん検診、イ. 乳がん検診

- その他の措置等

匿名データの作成・確認表を作成する際に、組み合わせ等により個体識別リスクが高いレコードが出現した場合は、削除等の匿名化処理を行う。

匿名データの審査表

統計調査名	国民生活基礎調査		2019年 (追加年次)	変更理由・備考	検証結果 (統計研究研修所記入欄)																		
母集団情報	27年国勢調査 調査区名簿		同左		○																		
リサンプリング	【第一段】 国勢調査区抽出 都道府県・指定都市の国勢調査区数に比例するよう、都道府県・指定都市別に国勢調査区をリサンプリング 【第二段】 世帯抽出 第一段でリサンプリングされた国勢調査区から世帯をリサンプリング 抽出率: 全体の約2割		同左		○																		
しきい値	1%		同左		○																		
世帯・個人識別情報の匿名化	以下の世帯を削除 ①世帯人員が8人以上の世帯 ②父子世帯 ③年齢差の大きい夫婦のいる世帯 i 夫が妻より20歳以上年上 ii 妻が夫より15歳以上年上 ④年齢差の大きい又は小さい親子のいる世帯 i 父親と未子の年齢差が55歳以上 ii 母親と未子の年齢差が50歳以上 iii 父親と長子の年齢差が15歳以下 iv 母親と長子の年齢差が10歳以下 ⑤同一年齢階級に4人以上の人員がいる世帯		①～⑤は同左 ⑥その他(匿名データの作成・確認表を作成する際に、組み合わせ等により個人識別リスクが高いレコードが出現した場合は、削除等の匿名化処理を行う。)	⑥を追加((匿名データの作成・確認表を作成する際に、組み合わせ等により個人識別リスクが高いレコードが出現した場合は、削除等の匿名化処理を行う。))	○																		
ノイズやスワッピング処理	なし		同左		—																		
世帯・個人を特定できる外部の情報の有無	なし		同左		—																		
データの並べ替え	同一世帯の世帯員は世帯員番号順を保ったまま世帯単位に乱数によりランダムに並び替え、その後データの世帯番号を付与		同左		○																		
提供項目等〔世帯票〕	○:原則そのまま提供 ▲:匿名化を譲じて提供 ×:提供しない																						
都道府県	×		×		—																		
地区番号	×		×		—																		
単位区番号	×		×		—																		
世帯番号	×		×		—																		
世帯人員数	▲	世帯人員8人以上は削除	▲	同左	○																		
世帯構造7分類	▲	世帯構造7分類の世帯中、「世帯・個人識別情報の匿名化」③④⑤に該当するものは削除	▲	同左	○																		
世帯類型	▲	父子世帯はレコード削除	▲	同左	○																		
住居の種類	○		○		○																		
建て方	○		○		○																		
居住室数	▲	10室以上トップコーディング	▲	同左	○																		
住宅の床面積	▲	20㎡未満ボトムコーディング 300㎡以上トップコーディング	▲	同左	○																		
単独世帯の区分	○		○		○																		
同居していない者の状況	▲	老人福祉施設入所者、社会福祉施設入所者、長期入院者を統合「入院・入所」は2人以上でコーディング、「学業」は3人以上でコーディング 単身赴任はそのまま提供	▲	同左	○																		
家計支出総額	▲	トップコーディング 単独世帯55万円以上 2人以上世帯100万円以上	▲	同左	○																		
<table border="1"> <tr> <td>育児費用</td> <td>▲</td> <td>7万円以上トップコーディング</td> <td>▲</td> <td>同左</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>親への仕送り</td> <td>▲</td> <td>6万円以上トップコーディング</td> <td>▲</td> <td>同左</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>子への仕送り</td> <td>▲</td> <td>16万円以上トップコーディング</td> <td>▲</td> <td>10万円以上トップコーディング 調査票データの分布を踏まえ、見直す。(16万円以上を10万円以上に変更)</td> <td>○</td> </tr> </table>	育児費用	▲	7万円以上トップコーディング	▲	同左	○	親への仕送り	▲	6万円以上トップコーディング	▲	同左	○	子への仕送り	▲	16万円以上トップコーディング	▲	10万円以上トップコーディング 調査票データの分布を踏まえ、見直す。(16万円以上を10万円以上に変更)	○					
	育児費用	▲	7万円以上トップコーディング	▲	同左	○																	
	親への仕送り	▲	6万円以上トップコーディング	▲	同左	○																	
子への仕送り	▲	16万円以上トップコーディング	▲	10万円以上トップコーディング 調査票データの分布を踏まえ、見直す。(16万円以上を10万円以上に変更)	○																		

(注1) 初めて匿名データを作成する統計調査の場合は、「匿名化処理基準」欄は使用しない。

(注2) 記載例を参考に必要な事項を記載し欄を追加する。

匿名データの審査表

統計調査名		国民生活基礎調査							
提供項目等〔世帯票〕		匿名化処理基準		2019年 (追加年次)		変更理由・備考		検証結果 (統計研究研修所記入欄)	
○:原則そのまま提供 ▲:匿名化を講じて提供 ×:提供しない									
世帯員番号		○		○					○
世帯主との続柄		○		○					○
性		○		○					○
出生年月		▲	年齢階級で提供 90歳以上トップコーディング	▲	同左				○
配偶者の有無		○		○					○
医療保険の加入状況		○		○	1. 市町村→「1. 都道府県・市町村」に変更	調査事項の変更			○
最多所得者か否か		▲	「最多所得者」、「家計補助者又は被扶養者」の2区分にリコーディング	▲	同左				○
公的年金・恩給の受給状況		▲	「福祉年金」、「恩給」を「その他」に統合	▲	同左				○
乳幼児の日中における保育者の状況		○		○					○
手助け見守りの要否		▲	手助け見守りを要する方が2人以上いる世帯はレコード削除	▲	同左				○
	日常生活の自立の状況	○		○					○
	自立の状況になってからの期間	▲	「1月未満」「1～3月未満」「3～6月未満」「6月～1年未満」を「1年未満」に統合	▲	同左				○
	要介護認定の有無	▲	要介護認定を受けている方が2人以上いる世帯はレコード削除	▲	同左				○
	同別居の状況	○		○					○
	主に手助けや見守りを要する方からみた続柄	○		○					○
	主に手助けや見守りをしている方の性	○		○					○
在卒の有無		▲	「3 在学したことがない」を「2 卒業」に統合	▲	同左				○
学校の種類		▲	「1 小学・中学」を「1 小学・中学以下（在学したことがないを含む）」とする 「1 小学・中学」又は「2 高校・旧制中」の再掲の「1 特別支援学校・特別支援学級」は「削除」	▲	同左				○
別居の子の有無		○		○					○
最も近くに住んでいる子の居住場所		○		○					○
5月中の仕事の有無		▲	「3 主に通学で仕事あり」は、「4 その他(で仕事あり)」に統合	▲	同左				○
1週間に仕事をした日数		○		○					○
1週間に仕事をした時間		▲	80時間以上でトップコーディング	▲	同左				○
就業期間		▲	50年以上でトップコーディング	▲	同左				○
仕事の内容(職業分類)		○		○					○
勤め・自営かの別		○		○					○
	勤め先での呼称	○		○					○
	企業規模・官公庁の別	○		○					○

(注1) 初めて匿名データを作成する統計調査の場合は、「匿名化処理基準」欄は使用しない。

(注2) 記載例を参考に必要な事項を記載し欄を追加する。

匿名データの審査表

統計調査名		国民生活基礎調査					
提供項目等(世帯票)		匿名化処理基準		2019年 (追加年次)	変更理由・備考	検証結果 (統計研究研修所記入欄)	
○:原則そのまま提供 ▲:匿名化を講じて提供 ×:提供しない							
就業希望の有無		○		○			○
	仕事の形の希望	○		○			○
	すぐにでも仕事につけるか	○		○			○
	仕事を探しているか	○		○			○
	仕事につけない理由	○		○			○
提供項目等(健康票)		○:原則そのまま提供 ▲:匿名化を講じて提供 ×:提供しない					
入院・入所の有無		○		○			○
自覚症状の有無		○		○			○
	自覚症状名	○		○			○
	主自覚症状名	○		○			○
	主自覚症状の治療状況	○		○			○
通院の有無		○		○			○
	傷病名	○		○			○
	主傷病名	▲	傷病分類を上位区分に再分類化	▲	同左		○
日常生活影響の有無		○		○			○
	日常生活影響の事柄	○		○			○
普段の活動ができなかった日の有無		○		○			○
	過去1か月間の普段の活動が出来なかった日数	▲	25日以上でトップコーディング	▲	同左		○
健康状態		○		○			○
サプリメントのような健康食品の摂取の有無				○	新規		○
悩みやストレスの有無		○		○			○
	悩みやストレスの原因	○		○			○
	最も気になる悩みやストレスの原因	○		○			○
	悩みやストレスの相談状況	▲	出現頻度の低い事項を統合	▲	同左		○
	最も気になる悩みやストレスの原因の相談状況	▲	出現頻度の低い事項を統合	▲	同左		○
1日平均睡眠時間		○		○			○
睡眠による休養状況		○		○			○
こころの状態(6項目)		○		○			○
	こころの状態の合計点	○		○			○
1週間の飲酒状況		○		○			○
	1日飲酒量	○		○			○
喫煙状況		○		○			○
	1日平均喫煙本数	○		○			○
健康のために日頃実行している事柄		○		○			○
過去1年間の健診等受診の有無		○		○			○
	どのような機会に受診したか	○		○			○
	健診を受けなかった理由	○		○			○
過去1年間がん検診受診状況					子宮がん検診、乳がん検診の削除	調査事項の変更	○
	胃がん検診	○		○			○
	どのような機会に受診したか	○		○			○
	肺がん検診	○		○			○
	どのような機会に受診したか	○		○			○
	大腸がん検診	○		○			○
	どのような機会に受診したか	○		○			○

(注1) 初めて匿名データを作成する統計調査の場合は、「匿名化処理基準」欄は使用しない。

(注2) 記載例を参考に必要な事項を記載し欄を追加する。

匿名データの審査表

統計調査名		国民生活基礎調査							
提供項目等〔健康票〕		匿名化処理基準		2019年 (追加年次)		変更理由・備考		検証結果 (統計研究研修所記入欄)	
○:原則そのまま提供 ▲:匿名化を講じて提供 ×:提供しない									
過去2年間のがん検診受診状況									○
胃がん検診				○			新規		○
	どのような機会に受診したか			○			新規		○
過去2年間の女性がん検診受診状況									○
子宮がん(子宮頸がん)検診		○		○					○
	どのような機会に受診したか	○		○					○
乳がん検診		○		○					○
	どのような機会に受診したか	○		○					○
提供項目等〔所得票〕		匿名化処理基準		2019年 (追加年次)		変更理由・備考		検証結果 (統計研究研修所記入欄)	
○:原則そのまま提供 ▲:匿名化を講じて提供 ×:提供しない									
性		○		○					○
出生年月		▲	年齢階級で提供 90歳以上トップコーディング	▲	同左				○
総所得		▲	トップコーディング 単独世帯1,100万円以上 2人以上世帯2,200万円以上	▲	同左				○
雇用者所得	雇用者所得	▲	トップコーディング 単独世帯800万円以上 2人以上世帯1,700万円以上	▲	同左				○
	事業所得	×		×					○
	農耕・畜産所得	×		×					○
	家内労働所得	×		×					○
	財産所得	×		×					○
	公的年金・恩給	▲	トップコーディング 単独世帯300万円以上 2人以上世帯500万円以上	▲	同左				○
	雇用保険	×		×					○
	児童手当等	×		×					○
	その他の社会保障給付金	×		×					○
	仕送り	×		×					○
	企業年金	×		×					○
	個人年金等	×		×					○
	その他の所得	×		×					○
税金＋社会保険 (リコーディング)				▲	<自動車税等を含む> トップコーディング 単独世帯308万円以上 2人以上世帯633万円以上	変更 自動車税等を含むデータをトップコーディングし提供する。		○	
		▲	トップコーディング 単独世帯250万円以上 2人以上世帯490万円以上	▲	<自動車税等を除く> トップコーディング 単独世帯305万円以上 2人以上世帯632万円以上	時系列を考慮し、自動車税等を除くデータをトップコーディングし提供する。		○	
所得税	所得税	×		×				○	
	住民税	×		×				○	
	社会保険料	×		×				○	
	固定資産税・都市計画税	×		×	固定資産税→「固定資産税・都市計画税」に変更			○	
	自動車税等			×		変更		○	
企業年金・個人年金等の掛金		▲	トップコーディング 単独世帯40万円以上 2人以上世帯80万円以上	×		調査票変更に伴い、下記のとおり分離して提供。		○	
企業年金等の掛金	企業年金等の掛金			▲	トップコーディング 単独世帯30万円以上 2人以上世帯55万円以上	調査事項の変更のため		○	
	個人年金等の掛金			▲	トップコーディング 単独世帯36万円以上 2人以上世帯68万円以上	調査事項の変更のため		○	
昨年1年間の仕送り金額				▲	トップコーディング 単独世帯120万円以上 2人以上世帯160万円以上	新規 トップコーディングし、提供		○	
生活意識		○		○				○	

(注1) 初めて匿名データを作成する統計調査の場合は、「匿名化処理基準」欄は使用しない。

(注2) 記載例を参考に必要な事項を記載し欄を追加する。

匿名データの審査表

統計調査名		国民生活基礎調査		2019年 (追加年次)		変更理由・備考		検証結果 (統計研究研修所記入欄)	
提供項目等〔貯蓄票〕		匿名化処理基準							
○:原則そのまま提供 ▲:匿名化を講じて提供 ×:提供しない									
貯蓄等の有無		○		○					○
	貯蓄現在額	▲	トップコーディング 単独世帯6,300万円以上 2人以上世帯9,000万円以上	▲	同左				○
貯蓄の増減		○		○					○
	減少額	▲	トップコーディング 単独世帯800万円以上 2人以上世帯1,300万円以上	▲	同左				○
	減少理由	○		○					○
借入金の有無		○		○					○
	借入金残高	▲	トップコーディング 単独世帯2,400万円以上 2人以上世帯4,000万円以上	▲	同左				○

(注1) 初めて匿名データを作成する統計調査の場合は、「匿名化処理基準」欄は使用しない。

(注2) 記載例を参考に必要な事項を記載し欄を追加する。

調査の概要

1 調査の目的

国民生活基礎調査は、保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び立案に必要な基礎資料を得ることを目的とするものであり、1986(昭和61)年を初年として3年ごとに大規模な調査を実施し、中間の各年は簡易な調査を実施することとしている。

2019(令和元)年は、12回目の大規模調査を実施した。

2 調査の対象及び客体

全国の世帯及び世帯員を対象とし、世帯票及び健康票については、2015(平成27)年国勢調査区のうち後置番号1及び8から層化無作為抽出した5,530地区内のすべての世帯(約30万世帯)及び世帯員(約72万人)を、介護票については、前記の5,530地区内から層化無作為抽出した2,500地区内の介護保険法の要介護者及び要支援者(約7千人)を、所得票・貯蓄票については、前記の5,530地区に設定された単位区のうち後置番号1から層化無作為抽出した2,000単位区内のすべての世帯(約3万世帯)及び世帯員(約8万人)を調査客体とした。

ただし、以下については調査の対象から除外した。

①世帯票・健康票・介護票

次に掲げる、世帯に不在の者

単身赴任者、出稼ぎ者、長期出張者(おおむね3か月以上)、遊学中の者、社会福祉施設の入所者、長期入院者(住民登録を病院に移している者)、預けた里子、収監中の者、その他の別居中の者

②所得票・貯蓄票

上記「世帯票」で掲げる不在の者、世帯票調査日以降に転出入した世帯及び世帯員、住み込み又はまかない付きの寮・寄宿舎に居住する単独世帯

注：1 「後置番号」とは、国勢調査区の種類を表す番号であり、「1」は一般調査区、「8」はおおむね50人以上の単身者が居住している寄宿舎・寮等のある区域をいう。

2 「単位区」とは、推計精度の向上、調査員の負担平準化等を図るため、一つの国勢調査区を地理的に分割したものである。

3 調査の実施日

世帯票・健康票・介護票 …… 2019(令和元)年6月6日(木)

所得票・貯蓄票 …… 2019(令和元)年7月11日(木)

4 調査の事項

世帯票 …… 単独世帯の状況、5月中の家計支出総額、世帯主との続柄、性、出生年月、配偶者の有無、医療保険の加入状況、公的年金・恩給の受給状況、公的年金の加入状況、就業状況等

健康票 …… 自覚症状、通院、日常生活への影響、健康意識、悩みやストレスの状況、こころの状態、健康診断等の受診状況等

介護票 …… 介護が必要な者の性別と出生年月、要介護度の状況、介護が必要となった原因、介護サービスの利用状況、主に介護する者の介護時間、家族等と事業者による主な介護内容等

所得票 …… 前年1年間の所得の種類別金額・課税等の状況、生活意識の状況等

貯蓄票 …… 貯蓄現在高、借入金残高等

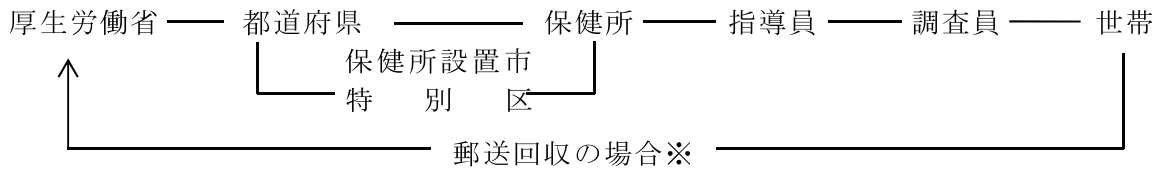
5 調査の方法

あらかじめ調査員が配布した調査票に世帯員が自ら記入し、後日、調査員が回収する方法により行った。なお、貯蓄票については密封回収とし、健康票・所得票については、やむを得ない場合のみ密封回収を行った。

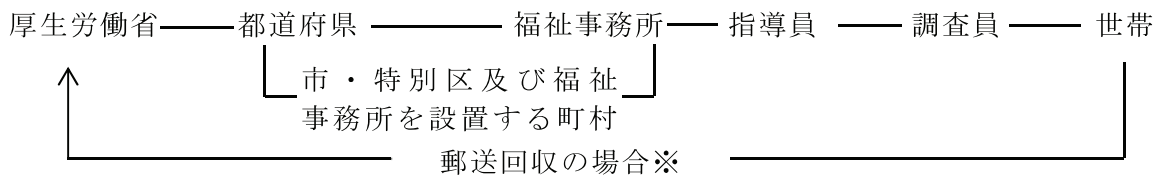
ただし、調査員が再三訪問しても不在等で一度も面接できない世帯に限り、郵送にて調査票を回収した。

6 調査の系統

①世帯票・健康票・介護票



②所得票・貯蓄票



※調査員が再三訪問しても不在等で一度も面接できない世帯に限る。

7 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、政策評価担当）において行った。

なお、調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりであった。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数 (集計不能のものを除いた数)
世帯票・健康票	301 334世帯	218 332世帯	217 179世帯
所得票・貯蓄票	32 529世帯	23 014世帯	22 288世帯
介護票	7 396人	6 549人	6 295人

※ 国民生活基礎調査は、統計法（平成 19 年法律第 53 号）に基づく基幹統計「国民生活基礎統計」を作成するための統計調査である。

2019 年国民生活基礎調査 調査票
(世帯票、健康票、所得票、貯蓄票)

質問3 お住まいの住居の種類と建て方についてお答えください。

<p>【住居の種類】</p> <p>1 持ち家 2 民間賃貸住宅 3 社宅・公務員住宅等の給与住宅 4 都市再生機構・公社等の公営賃貸住宅 5 借間・その他</p>	→	<p>【建て方】</p> <p>1 一戸建て 2 共同住宅 (マンション、アパート等)</p>
---	---	--

質問4 お住まいの住居の室数について、居住用の部屋数（玄関や風呂等は含めないでください。）を記入してください。

また、床面積は、玄関や廊下等も含めた住宅全体のおおよその床面積を記入してください。

<p>【室数】</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; margin: 5px auto; position: relative;"> } } } } } } } } } } } </div> <p style="text-align: right;">室</p>	<p>【床面積】</p> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 40px; margin: 5px auto; position: relative;"> } } } } } } } } } } </div> <p style="text-align: right;">. m²</p>	<p>※ 床面積の換算</p> <p>1 坪 = 3.3 m²</p> <p>2 畳 = 3.3 m²</p>
--	--	---

質問5 5月中の家計支出総額（世帯の方全員の支出金額の合計額）を記入してください。

}

}

}

}

}

}

}

}

}

}

万円

※ 以下の費用は家計支出には含めないでください。

税金、社会保険料、事業上の支払い(農家における肥料や農具、商店における商品の仕入れに使った金等)、貯蓄、借金や住宅ローンなどの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料

補問5-1 小学校入学前の方がいる場合は、5月中の家計支出総額のうち、育児にかかった費用を記入してください。

}

}

}

}

}

}

}

}

}

}

万 千円

※ 育児にかかった費用とは、ミルク代、離乳食代、医療費、保育料、習い事の費用、衣服費、おもちゃ代、その他育児にかかった費用のすべてが入ります。

補問5-2 5月中の家計支出総額のうち、別居している親又は子への仕送りの状況をお答えください。仕送りの目的については、あてはまるすべての番号に○をつけてください。

<p>【仕送りの状況】</p> <p>別居している親がいる</p> <p>↳</p> <p>1 仕送りあり</p> <p>2 仕送りなし</p> <p>3 別居している親はいない</p>	→	<p>【仕送りの目的】</p> <p>1 入所・入院費</p> <p>2 その他</p>	<p>【仕送り額】</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 40px; margin: 5px auto; position: relative;"> } } } } } } } } } } </div> <p style="text-align: right;">万円</p>
--	---	---	---

<p>【仕送りの状況】</p> <p>別居している子がいる</p> <p>↳</p> <p>1 仕送りあり</p> <p>2 仕送りなし</p> <p>3 別居している子はいない</p>	→	<p>【仕送りの目的】</p> <p>1 学業</p> <p>2 その他</p>	<p>【仕送り額】</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 40px; margin: 5px auto; position: relative;"> } } } } } } } } } } </div> <p style="text-align: right;">万円</p>
--	---	---	---

引き続き「Ⅱ 世帯員の状況」についてもお答えください。

II 世帯員の状況

- すべての世帯員の方について、ひとり一列で記入してください。
- 世帯員の記入順序は、夫婦・親子の関係がある方を順に並べて記入してください。
- 選択肢は指示がない場合は、あてはまる番号1つに○をつけ、数字は右づめで記入してください。

調査員記入欄

地区番号		単位区番		世帯番号	
------	--	------	--	------	--

質問1 最多所得者	(世帯員番号) 01	(世帯員番号) 02	(世帯員番号) 03
調査日前1年間で所得(年金、仕送り等を含む。)が最も多かった方1名の世帯員番号に○をつけてください。			
質問2 世帯主との続柄	01 世帯主 02 世帯主の配偶者 03 子 04 子の配偶者 05 孫 06 孫の配偶者	07 世帯主の父母 08 配偶者の父母 09 祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他の親族 12 その他(親族以外)	07 世帯主の父母 08 配偶者の父母 09 祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他の親族 12 その他(親族以外)
質問3 性	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女
質問4 出生年月	1 明治 4 平成 2 大正 5 新元号 3 昭和	1 明治 4 平成 2 大正 5 新元号 3 昭和	1 明治 4 平成 2 大正 5 新元号 3 昭和
質問5 配偶者(夫又は妻)の有無	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別
質問6 医療保険の加入状況	国民健康保険 1 都道府県・市町村 2 組合 被用者保険(協会けんぽ、組合健保、共済組合等) 3 加入者本人 4 家族(被扶養者) 5 後期高齢者医療制度 6 その他	国民健康保険 1 都道府県・市町村 2 組合 被用者保険(協会けんぽ、組合健保、共済組合等) 3 加入者本人 4 家族(被扶養者) 5 後期高齢者医療制度 6 その他	国民健康保険 1 都道府県・市町村 2 組合 被用者保険(協会けんぽ、組合健保、共済組合等) 3 加入者本人 4 家族(被扶養者) 5 後期高齢者医療制度 6 その他
質問7 公的年金・恩給の受給状況	受給している 01 基礎年金 02 基礎年金と厚生年金 03 基礎年金と共済年金 04 基礎年金と厚生年金と共済年金 05 国民年金 06 福祉年金 07 厚生年金 08 共済年金 09 恩給 10 その他 11 受給していない	受給している 01 基礎年金 02 基礎年金と厚生年金 03 基礎年金と共済年金 04 基礎年金と厚生年金と共済年金 05 国民年金 06 福祉年金 07 厚生年金 08 共済年金 09 恩給 10 その他 11 受給していない	受給している 01 基礎年金 02 基礎年金と厚生年金 03 基礎年金と共済年金 04 基礎年金と厚生年金と共済年金 05 国民年金 06 福祉年金 07 厚生年金 08 共済年金 09 恩給 10 その他 11 受給していない

小学校入学前の方についてお答えください。

質問8 乳幼児(小学校入学前)の保育状況	1 乳幼児の父母 2 乳幼児の祖父母 3 認可保育所 4 認可外保育施設	5 幼稚園 6 認定こども園 7 その他	1 乳幼児の父母 2 乳幼児の祖父母 3 認可保育所 4 認可外保育施設	5 幼稚園 6 認定こども園 7 その他	1 乳幼児の父母 2 乳幼児の祖父母 3 認可保育所 4 認可外保育施設	5 幼稚園 6 認定こども園 7 その他
----------------------	---	----------------------------	---	----------------------------	---	----------------------------

6歳以上の方についてお答えください。

質問9 手助けや見守りの要否	手助けや見守りを 1 必要としている 2 必要としない	手助けや見守りを 1 必要としている 2 必要としない	手助けや見守りを 1 必要としている 2 必要としない
----------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------

手助けや見守りを必要としている方についてお答えください。

補問9-1 日常生活の自立の状況	1 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる 2 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない 3 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ 4 1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替において介助を要する	1 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる 2 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない 3 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ 4 1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替において介助を要する	1 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる 2 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない 3 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ 4 1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替において介助を要する
補問9-2 期間	1 1月末未満 2 1~3月末未満 3 3~6月末未満 4 6月~1年末未満 5 1~3年末未満	6 3~5年末未満 7 5~10年末未満 8 10~20年末未満 9 20年以上	1 1月末未満 2 1~3月末未満 3 3~6月末未満 4 6月~1年末未満 5 1~3年末未満
補問9-3 要介護認定の有無	要介護認定を 1 受けている 2 受けていない	要介護認定を 1 受けている 2 受けていない	要介護認定を 1 受けている 2 受けていない

主に手助けや見守りをしている方はどなたかお答えください。(質問9で手助けや見守りを「1 必要としている」と回答した方への質問です。)

補問9-4 同居の状況	主に手助けや見守りをしている方は 1 同居している 2 同居していない	主に手助けや見守りをしている方は 1 同居している 2 同居していない	主に手助けや見守りをしている方は 1 同居している 2 同居していない
補問9-5 主に手助けや見守りをしている方の続柄	1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母	5 その他の親族 6 事業者(ホームヘルパー等) 7 その他(ボランティア・近所の人など)	1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母
補問9-6 主に手助けや見守りをしている方の性	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女

裏面に続きます。(15歳未満の方については質問終了です。)

表面の世帯員番号と同じ列に記入してください。

(世帯員番号)	01	02	03
15歳以上の方についてお答えください。			
質問10 教育 <small>現在、学校に在学しているかどうかお答えください。 「在学中」の方はその学校について、「卒業」の方は 最終卒業学校（中途退学をした方はその前の学校）に ついてお答えください。 ・予備校などはここでいう学校には含まれません。 ・「1 小学・中学」又は「2 高校・旧制中」に○をつけた 方で「1 特別支援学校・特別支援学級」に在学中又は 卒業した方はこちらにも○をつけてください。</small>	1 在学中 } 1 小学・中学 } 1 特別支援 2 卒業 } 2 高校・旧制中 } 学校・ } 3 在学した } 3 専門学校 } 特別支援 ことが } 4 短大・高専 } 学級 ない } 5 大学 } } 6 大学院 }	1 在学中 } 1 小学・中学 } 1 特別支援 2 卒業 } 2 高校・旧制中 } 学校・ } 3 在学した } 3 専門学校 } 特別支援 ことが } 4 短大・高専 } 学級 ない } 5 大学 } } 6 大学院 }	1 在学中 } 1 小学・中学 } 1 特別支援 2 卒業 } 2 高校・旧制中 } 学校・ } 3 在学した } 3 専門学校 } 特別支援 ことが } 4 短大・高専 } 学級 ない } 5 大学 } } 6 大学院 }
質問11 公的年金の加入状況 加入している 20歳以上60歳未満の方は原則として加入して います。 加入していない 20歳未満で仕事をしていない方、すでに老齢 年金又は退職年金を受給している方、受給資格 があるが受給待ちの方などが該当します。	公的年金に加入している 1 国民年金第1号被保険者 (自営業者や学生等) 2 国民年金第2号被保険者 (会社員や公務員等) 3 国民年金第3号被保険者 (会社員や公務員等の配偶者) 4 公的年金に加入していない	公的年金に加入している 1 国民年金第1号被保険者 (自営業者や学生等) 2 国民年金第2号被保険者 (会社員や公務員等) 3 国民年金第3号被保険者 (会社員や公務員等の配偶者) 4 公的年金に加入していない	公的年金に加入している 1 国民年金第1号被保険者 (自営業者や学生等) 2 国民年金第2号被保険者 (会社員や公務員等) 3 国民年金第3号被保険者 (会社員や公務員等の配偶者) 4 公的年金に加入していない
質問12 別居している子の有無 別居している子の有無について、お答えください。	別居している子が 1 いる 2 いない → (質問13へ)	別居している子が 1 いる 2 いない → (質問13へ)	別居している子が 1 いる 2 いない → (質問13へ)
補問12-1 最も近くに住んでいる別居の子の 居住場所	1 同一家屋 4 同一市区町村 2 同一敷地 5 その他の地域 3 近隣地域	1 同一家屋 4 同一市区町村 2 同一敷地 5 その他の地域 3 近隣地域	1 同一家屋 4 同一市区町村 2 同一敷地 5 その他の地域 3 近隣地域
質問13 5月中の仕事の状況 収入を伴う仕事を少しでもした方は「仕事あり」、 まったく仕事をしなかった方は「仕事なし」の中 からお答えください。 <small>無給で自家営業の手伝いをした場合や、育児休業や介護休業の ため、一時的に仕事を休んでいる場合も「仕事あり」とします。 PTA役員やボランティアなど無報酬の活動は「仕事なし」とします。 なお、家事には、育児、介護などを含めます。</small>	仕事あり 1 主に仕事をしている 2 主に家事で仕事あり 3 主に通学で仕事あり 4 その他 仕事なし 5 通学 6 家事 7 その他 (質問18へ)	仕事あり 1 主に仕事をしている 2 主に家事で仕事あり 3 主に通学で仕事あり 4 その他 仕事なし 5 通学 6 家事 7 その他 (質問18へ)	仕事あり 1 主に仕事をしている 2 主に家事で仕事あり 3 主に通学で仕事あり 4 その他 仕事なし 5 通学 6 家事 7 その他 (質問18へ)

質問13で「1」～「4」（仕事あり）と回答した方についてお答えください。

質問14 1週間の就業日数等 5月20日(月)～26日(日)の1週間に実際に仕事を した日数と時間をお答えください。 なお、複数の仕事をした場合は、すべての合計を お答えください。	【就業日数】 1週間の仕事をした日数 <input type="text"/> 日 【就業時間】 1週間の残業も含めた 総時間 <input type="text"/> 時間	【就業日数】 1週間の仕事をした日数 <input type="text"/> 日 【就業時間】 1週間の残業も含めた 総時間 <input type="text"/> 時間	【就業日数】 1週間の仕事をした日数 <input type="text"/> 日 【就業時間】 1週間の残業も含めた 総時間 <input type="text"/> 時間
---	---	---	---

現在の主な仕事についてお答えください。

質問15 就業開始時期 主な仕事について、その仕事について時期をお答え ください。	1 大正 3 平成 2 昭和 4 新元号 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1 大正 3 平成 2 昭和 4 新元号 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1 大正 3 平成 2 昭和 4 新元号 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月
質問16 仕事の内容(職業分類) 主な仕事について、お答えください。	01 管理的職業従事者 07 農林漁業従事者 02 専門的・技術的 08 生産工程従事者 職業従事者 09 輸送・機械運転従事者 03 事務従事者 10 建設・探掘従事者 04 販売従事者 11 運搬・清掃・包装等 従事者 05 サービス職業従事者 06 保安職業従事者 12 分類不能の職業	01 管理的職業従事者 07 農林漁業従事者 02 専門的・技術的 08 生産工程従事者 職業従事者 09 輸送・機械運転従事者 03 事務従事者 10 建設・探掘従事者 04 販売従事者 11 運搬・清掃・包装等 従事者 05 サービス職業従事者 06 保安職業従事者 12 分類不能の職業	01 管理的職業従事者 07 農林漁業従事者 02 専門的・技術的 08 生産工程従事者 職業従事者 09 輸送・機械運転従事者 03 事務従事者 10 建設・探掘従事者 04 販売従事者 11 運搬・清掃・包装等 従事者 05 サービス職業従事者 06 保安職業従事者 12 分類不能の職業
質問17 勤めか自営かの別 主な仕事について、お答えください。 01、02、03、04と答えの方は、 補問17-1、17-2 を お答えください。	01 一般常雇者(契約期間の定めのない雇者) 02 一般常雇者(契約期間が1年以上の雇者) 03 1年以上1年未満の契約の雇者 04 日々又は1月未満の契約の雇者 05 会社・団体等の役員 06 自営業主(雇人あり) 07 自営業主(雇人なし) 08 家族従業者 (自家営業の手伝い) 09 内職 10 その他 (質問終了です。)	01 一般常雇者(契約期間の定めのない雇者) 02 一般常雇者(契約期間が1年以上の雇者) 03 1年以上1年未満の契約の雇者 04 日々又は1月未満の契約の雇者 05 会社・団体等の役員 06 自営業主(雇人あり) 07 自営業主(雇人なし) 08 家族従業者 (自家営業の手伝い) 09 内職 10 その他 (質問終了です。)	01 一般常雇者(契約期間の定めのない雇者) 02 一般常雇者(契約期間が1年以上の雇者) 03 1年以上1年未満の契約の雇者 04 日々又は1月未満の契約の雇者 05 会社・団体等の役員 06 自営業主(雇人あり) 07 自営業主(雇人なし) 08 家族従業者 (自家営業の手伝い) 09 内職 10 その他 (質問終了です。)
補問17-1 勤め先での呼称 「労働者派遣事業所の派遣社員」とは労働者派遣法に 基づく事業所に雇用され、そこから派遣されている 人をいいます。	1 正規の職員・従業員 2 パート 3 アルバイト 4 労働者派遣事業所の派遣社員 5 契約社員 6 嘱託 7 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート 3 アルバイト 4 労働者派遣事業所の派遣社員 5 契約社員 6 嘱託 7 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート 3 アルバイト 4 労働者派遣事業所の派遣社員 5 契約社員 6 嘱託 7 その他
補問17-2 企業規模・官公庁の別 本社・本店や出張所などを含めた企業全体の従業員 数をお答えください。 「官公庁」とは、国の機関や地方自治体をいいます。	1 1～4人 6 500～999人 2 5～29人 7 1000～4999人 3 30～99人 8 5000人以上 4 100～299人 9 官公庁 5 300～499人	1 1～4人 6 500～999人 2 5～29人 7 1000～4999人 3 30～99人 8 5000人以上 4 100～299人 9 官公庁 5 300～499人	1 1～4人 6 500～999人 2 5～29人 7 1000～4999人 3 30～99人 8 5000人以上 4 100～299人 9 官公庁 5 300～499人

質問13で「5」～「7」（仕事なし）と回答した方についてお答えください。

質問18 就業希望の有無 就業希望の有無について、お答えください。	収入を伴う仕事を 1 したいと思っ ている 2 したいと思っ ていない (質問終了です。)	収入を伴う仕事を 1 したいと思っ ている 2 したいと思っ ていない (質問終了です。)	収入を伴う仕事を 1 したいと思っ ている 2 したいと思っ ていない (質問終了です。)
補問18-1 どのような形で仕事をしたいと 思いますか 最もしたいと思う仕事の形の番号1つに○を つけてください。 現在仕事を探していない方でも、仕事についたら どのような形で仕事をしたいかをお答えください。	1 正規の職員・従業員 2 パート・アルバイト 3 労働者派遣事業所の派遣社員 4 契約社員・嘱託 5 自営 6 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート・アルバイト 3 労働者派遣事業所の派遣社員 4 契約社員・嘱託 5 自営 6 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート・アルバイト 3 労働者派遣事業所の派遣社員 4 契約社員・嘱託 5 自営 6 その他
補問18-2 すぐにも仕事につけますか	1 つける 2 つかない	1 つける 2 つかない	1 つける 2 つかない
補問18-3 仕事を 探していますか 現在採用結果を待つ ている方も「探している」に ○をつけてください。	1 探している 2 探していない	1 探している 2 探していない	1 探している 2 探していない
補問18-4 仕事に つかない理由 あてはまるすべての 番号に○をつけて ください。	【仕事につけない理由】 仕事を 1 出産・育児のため 2 介護・看護のため 3 健康に自信がない 4 その他	【仕事につけない理由】 仕事を 1 出産・育児のため 2 介護・看護のため 3 健康に自信がない 4 その他	【仕事につけない理由】 仕事を 1 出産・育児のため 2 介護・看護のため 3 健康に自信がない 4 その他

ご記入ありがとうございました。

国民生活基礎調査【健康票】

(2019年6月6日調査)

この調査は、統計法に基づき国が実施する基幹統計調査です。
調査票情報の秘密の保護に万全を期していますので、ありのままを記入してください。

＜ 記入上の注意 ＞

- ・ この調査票は、世帯の方全員が1人1冊ずつ、記入してください。
- ・ 『(世帯票・健康票)記入のしかた』をよくお読みになってから記入してください。
- ・ もし記入方法がわからなかった場合は、調査員が受け取りにうかがったときにおたずねください。
- ・ 選択肢はあてはまる番号1つ、又はあてはまるすべての番号に○をつけてください。
- ・ 数字は右づめで記入してください。
- ・ ご自分で記入できない方については、ご家族の方、又は介護をしている方が記入を手伝ってください。
- ・ できるだけ黒のボールペンで記入してください。

質問1 あなたの性・出生年月を記入してください。性・元号は、あてはまる番号1つに○をつけ、出生年月には数字を右づめで記入してください。

性	出生年月			
1 男	1 明治	4 平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2 女	2 大正	5 新元号	<input type="text"/> 年	<input type="text"/> 月
	3 昭和			

調査員記入欄

地区番号		単位区番号		世帯番号	
------	--	-------	--	------	--

質問2 あなたは現在、病院や診療所に入院中、又は、介護保険施設に入所中ですか。

1 はい

質問終了です。

2 いいえ

※ 介護保険施設とは、介護医療院、介護療養型医療施設、介護老人保健施設及び介護老人福祉施設をいいます。

質問3 あなたはここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところ（自覚症状）がありますか。

1 ある

2 ない

質問4へ

補問3-1 それは、どのような症状ですか。あてはまるすべての症状名の番号に○をつけてください。その中で最も気になる症状名の番号を番号記入欄に記入してください。

全身症状	01 熱がある	呼吸器系	15 せきやたんが出る	筋骨格系	29 肩こり	
	02 体がだるい		16 鼻がつまる・ 鼻汁が出る		30 腰痛	
	03 眠れない		17 ゼイゼイする		31 手足の関節が痛む	
	04 いらいらしやすい	消化器系	18 胃のもたれ・ むねやけ		手足	32 手足の動きが悪い
	05 ものを忘れする		19 下痢			33 手足のしびれ
	06 頭痛		20 便秘			34 手足が冷える
眼	07 めまい	21 食欲不振	尿路生殖器系	35 足のむくみやだるさ		
	08 目のかすみ	22 腹痛・胃痛		36 尿が出にくい・ 排尿時痛い		
耳	09 物を見づらい	23 痔による痛み・ 出血など		損傷	37 頻尿(尿の出る回数が多い)	
	10 耳なりがする	歯	24 歯が痛い		38 尿失禁(尿がもれる)	
胸部	11 きこえにくい		25 歯ぐきのはれ・出血		39 月経不順・月経痛	
	12 動悸	26 かみにくい	40 骨折・ねんざ・ 脱きゅう			
	13 息切れ	皮膚	27 発疹(じんま疹・できもの など)	41 切り傷・やけどなどの けが		
14 前胸部に痛みが ある	28 かゆみ(湿疹・水虫など)		42 その他			

最も気になる症状の番号記入欄 → 番

補問3-2 最も気になる症状に対して、なんらかの治療をしていますか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- 1 病院・診療所に通っている（往診、訪問診療を含む）
- 2 あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）にかかっている
- 3 売薬をのんだり、つけたりしている
- 4 それ以外の治療をしている
- 5 治療をしていない

質問4 あなたは現在、傷病（病気やけが）で病院や診療所（医院、歯科医院）、あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）に通っていますか。（往診、訪問診療、補問3-1の症状で通っているものを含む）

1 通っている 2 通っていない → **質問5へ**

補問4-1 どのような傷病（病気やけが）で通っていますか。あてはまるすべての傷病名の番号に○をつけてください。その中で最も気になる傷病名の番号を番号記入欄に記入してください。

内分泌・代謝障害	01 糖尿病	呼吸器系	15 急性鼻咽頭炎(かぜ)	尿路生殖器系	32 腎臓の病気
	02 肥満症		16 アレルギー性鼻炎		33 前立腺肥大症
	03 脂質異常症 (高コレステロール血症等)		17 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)		34 閉経期又は閉経後障害 (更年期障害等)
	04 甲状腺の病気		18 喘息	損傷	35 骨折
	精神・神経		05 うつ病やその他の こころの病気		19 その他の呼吸器系 の病気
		06 認知症	消化器系	20 胃・十二指腸の病気	37 貧血・血液の病気
	07 パーキンソン病	21 肝臓・胆のうの病気		38 悪性新生物(がん)	
	08 その他の神経の病気 (神経痛・麻痺等)	22 その他の消化器系 の病気		39 妊娠・産褥 (切迫流産、前置胎盤等)	
循環器系	09 眼の病気	23 歯の病気	40 不妊症	最も気になる傷病の 番号記入欄 →	<input type="text"/> 番
	10 耳の病気	皮膚	24 アトピー性皮膚炎		
	11 高血圧症		25 その他の皮膚の病気	42 不明	
	12 脳卒中(脳出血、脳梗塞等)	筋骨格系	26 痛風		
	13 狭心症・心筋梗塞		27 関節リウマチ		
	14 その他の循環器系の 病気		28 関節症		
			29 肩こり症		
			30 腰痛症		
		31 骨粗しょう症			

6歳未満の方は質問終了です。6歳以上の方は続けてお答えください。

質問5 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

1 ある 2 ない → **質問6へ**

補問5-1 それはどのようなことに影響がありますか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1 日常生活動作(起床、衣服着脱、食事、入浴など) | 4 運動(スポーツを含む) |
| 2 外出(時間や作業量などが制限される) | 5 その他 |
| 3 仕事、家事、学業(時間や作業量などが制限される) | |

質問6 過去1か月の間に、健康上の問題で床についたり、普段の活動ができなかった（仕事・学校を休んだ、家事ができなかった等）日数はどれくらいありましたか。日数を右づめで記入してください。

1 ない 2 ある → 合計 日

質問7 あなたの現在の健康状態はいかがですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 よい 2 まあよい 3 ふつう 4 あまりよくない 5 よくない

質問8 あなたは現在、サプリメントのような健康食品（健康の維持・増進に役立つといわれる成分を含む、錠剤、カプセル、粉末状、液状などに加工された食品）を食べたり、飲んだりしていますか。

1 はい 2 いいえ

※「サプリメントのような健康食品」に含まれるもの、含まれないものの例については、「記入のしかた」の35～36ページをご参照ください。

12歳未満の方は質問終了です。12歳以上の方は続けてお答えください。

質問9 あなたは現在、日常生活で悩みやストレスがありますか。

1 ある 2 ない → 質問10へ

補問9-1 それは、どのような原因ですか。あてはまるすべての原因の番号に○をつけてください。その中で最も気になる原因の番号を番号記入欄に記入してください。

01 家族との人間関係	12 妊娠・出産
02 家族以外との人間関係	13 育児
03 恋愛・性に関すること	14 家事
04 結婚	15 自分の学業・受験・進学
05 離婚	16 子どもの教育
06 いじめ、セクシュアル・ハラスメント	17 自分の仕事
07 生きがいに関すること	18 家族の仕事
08 自由にできる時間がないこと	19 住まいや生活環境 (公害、安全及び交通事情を含む)
09 収入・家計・借金等	20 その他
10 自分の病気や介護	21 わからない
11 家族の病気や介護	

最も気になる悩みやストレスの番号記入欄 → 番

補問9-2 悩みやストレスを、どのように相談していますか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。また、最も気になる悩みやストレスについてどのように相談していますか。あてはまる番号の主なものを2つまで番号記入欄に記入してください。

01 家族に相談している	06 病院・診療所の医師に相談している
02 友人・知人に相談している	07 テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナーを利用している
03 職場の上司、学校の先生に相談している	08 01~07以外で相談している(職場の相談窓口等)
04 公的な機関(保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等)の相談窓口(電話等での相談を含む)を利用している	09 相談したいが誰にも相談できないでいる
05 民間の相談機関(悩み相談所等)の相談窓口(電話等での相談を含む)を利用している	10 相談したいがどこに相談したらよいかわからない
	11 相談する必要はないので誰にも相談していない

最も気になる悩みやストレスの相談状況の番号記入欄 → 番

質問10 あなたの過去1か月の1日の平均睡眠時間はどのくらいでしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 5時間未満	4 7時間以上8時間未満
2 5時間以上6時間未満	5 8時間以上9時間未満
3 6時間以上7時間未満	6 9時間以上

質問11 あなたは過去1か月、睡眠によって休養が充分にとれていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 充分とれている 2 まあまあとれている 3 あまりとれていない 4 まったくとれていない

質問12 次の(ア)から(カ)の質問について、過去1か月の間はどのようであったか、6つの項目それぞれのあてはまる番号1つに○をつけてください。

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったく ない
(ア) 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
(イ) 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
(ウ) そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
(エ) 気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
(オ) 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
(カ) 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

20歳未満の方は質問終了です。20歳以上の方は続けてお答えください。

質問13 あなたは週に何日くらいお酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲みますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|--------------|----------------|
| 1 毎日 | 6 ほとんど飲まない | → 質問14へ |
| 2 週5~6日 | 7 やめた | |
| 3 週3~4日 | 8 飲まない(飲めない) | |
| 4 週1~2日 | | |
| 5 月1~3日 | | |

補問13-1 お酒を飲む日は1日あたり、どのくらいの量を飲みますか。
清酒に換算し、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 1合(180ml)未満 | 4 3合以上4合(720ml)未満 |
| 2 1合以上2合(360ml)未満 | 5 4合以上5合(900ml)未満 |
| 3 2合以上3合(540ml)未満 | 6 5合(900ml)以上 |

※ 清酒1合(アルコール度数15度・180ml)は、次の量にほぼ相当
ビール中瓶1本(同5度・500ml)、焼酎0.6合(同25度・約110ml)、ワイン1/4本(同14度・約180ml)、
ウイスキーダブル1杯(同43度・60ml)、缶チューハイ1.5缶(同5度・約520ml)

質問14 あなたはたばこを吸いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------------------|------------------------------|----------|
| 1 毎日吸っている | → 1日に平均して
何本くらい吸い
ますか。 | 1 10本以下 |
| 2 時々吸う日がある | | 2 11~20本 |
| 3 以前は吸っていたが1か月以上
吸っていない | | 3 21~30本 |
| 4 吸わない | | 4 31本以上 |

質問15 あなたは日ごろ、健康のために次のような事柄を実行していますか。
あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- 1 規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている
- 2 バランスのとれた食事をしている
- 3 うす味のもの食べている
- 4 食べ過ぎないようにしている
- 5 適度に運動(スポーツを含む)をするか身体を動かしている
- 6 睡眠を十分にとっている
- 7 たばこを吸わない
- 8 お酒を飲み過ぎないようにしている
- 9 ストレスをためないようにしている
- 10 その他
- 11 特に何もしていない

質問16 あなたは過去1年間に、健診等（健康診断、健康診査及び人間ドック）を受けたことがありますか。

注：次のようなものは健診等には含まれません。
がんのみの検診、妊産婦検診、
歯の健康診査、
病院や診療所で行う診療としての検査

1 ある 2 ない → 補問16-2へ

補問16-1 どのような機会に健診等を受けましたか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

※ 1~3の各機関が指示する医療機関で受けた場合は、それぞれの機関の番号に○をつけてください。

- 1 市区町村が実施した健診
- 2 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した健診
- 3 学校が実施した健診
- 4 人間ドック（上記1~3以外の健診で行うもの）
- 5 その他

【補問16-2は質問16で「2 ない」と答えた方のみお答えください。】

補問16-2 それは、どのような理由で受けなかったのですか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 01 知らなかったから | 08 健康状態に自信があり、必要性を感じないから |
| 02 時間がとれなかったから | 09 心配な時はいつでも医療機関を受診できるから |
| 03 場所が遠いから | 10 結果が不安なため、受けたくないから |
| 04 費用がかかるから | 11 めんどうだから |
| 05 検査等（採血、胃カメラ等）に不安があるから | 12 その他 |
| 06 その時、医療機関に入通院していたから | |
| 07 毎年受ける必要性を感じないから | |

次頁へ続きます。

※ 質問17、質問18、質問19のがん検診については、健診等（健康診断、健康診査及び人間ドック）の中で受診したものも含まれます。

質問17 あなたは過去1年間に、下記の3つのがん検診を受けましたか。それぞれの検診についてお答えください。また、受診した検診ごとに、どのような機会に受診したのかお答えください。

<p>胃がん検診(バリウムによるX線撮影や内視鏡(胃カメラ、ファイバースコープ)による撮影など)</p> <p>1 受けなかった 2 受けた</p>	<p>どのような機会に検診を受けましたか。 あてはまるすべての番号に○をつけてください。</p> <p>1 市区町村が実施した検診 2 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診 3 その他</p>
<p>肺がん検診(胸のX線撮影や喀痰(かたん)検査など)</p> <p>1 受けなかった 2 受けた</p>	<p>どのような機会に検診を受けましたか。 あてはまるすべての番号に○をつけてください。</p> <p>1 市区町村が実施した検診 2 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診 3 その他</p>
<p>大腸がん検診(便潜血反応検査(検便)など)</p> <p>1 受けなかった 2 受けた</p>	<p>どのような機会に検診を受けましたか。 あてはまるすべての番号に○をつけてください。</p> <p>1 市区町村が実施した検診 2 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診 3 その他</p>

質問18 あなたは過去2年間に、胃がん検診を受けましたか。また、どのような機会に受診したのかお答えください。

<p>胃がん検診(バリウムによるX線撮影や内視鏡(胃カメラ、ファイバースコープ)による撮影など)</p> <p>1 受けなかった 2 受けた</p>	<p>どのような機会に検診を受けましたか。 あてはまるすべての番号に○をつけてください。</p> <p>1 市区町村が実施した検診 2 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診 3 その他</p>
---	--

20歳以上の女性の方は続けてお答えください。

質問19 あなたは過去2年間に、下記の2つのがん検診を受けましたか。それぞれの検診についてお答えください。また、受診した検診ごとに、どのような機会に受診したのかお答えください。

<p>子宮がん(子宮頸がん)検診(子宮の細胞診検査など)</p> <p>1 受けなかった 2 受けた</p>	<p>どのような機会に検診を受けましたか。 あてはまるすべての番号に○をつけてください。</p> <p>1 市区町村が実施した検診 2 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診 3 その他</p>
<p>乳がん検診(Mammography撮影や乳房超音波(EI)検査など)</p> <p>1 受けなかった 2 受けた</p>	<p>どのような機会に検診を受けましたか。 あてはまるすべての番号に○をつけてください。</p> <p>1 市区町村が実施した検診 2 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診 3 その他</p>

ご記入ありがとうございました。

国民生活基礎調査【所得票】

(2019年7月11日調査)

この調査は、統計法に基づき国が実施する基幹統計調査です。
調査票情報の秘密の保護に万全を期していますので、ありのままを記入してください。

<記入上の注意>

- この調査票は、昨年1年間（2018（平成30）年1月1日～12月31日）に何らかの所得や税金、社会保険料、企業年金・個人年金等の掛金の支出があった方が1人1冊ずつ、記入してください。
(所得には、アルバイトによる所得や仕送り、年金も含まれます。)
- もし記入方法がわからなかった場合は、調査員が受け取りにうかがったときにおたずねください。
- ご自分で記入できない方については、ご家族の方が回答してください。
- できるだけ黒のボールペンで記入してください。
- 7月11日以降に調査員があらためておうかがいたしますので、それまでに 枠の質問について記入してください。

 所得や課税等の支出のあった方は、質問1から順に記入してください。

質問1

あなたの性・出生年月を記入してください。

性・元号はあてはまる番号1つに○をつけ、出生年月には数字を右づめで記入してください。

性	出生年月			
1 男	1 明治	3 昭和	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2 女	2 大正	4 平成	年	月

※ 所得については2ページから、課税等の支出については6ページから記入してください。
15ページの質問9は、世帯主又は世帯を代表する方が記入してください。

調査員記入欄

地区番号		単位区番号		世帯番号	
------	--	-------	--	------	--

昨年1年間に何らかの所得を受け取った場合は、2及び4ページの所得の種類ごとに、1年分の所得金額を万円単位で記入してください。
 所得のなかった方は、6ページへお進みください。

右ページの書類をお持ちの方は参考にしてください。

【金額記入の注意】

- 万円未満は四捨五入して、万円単位で右づめに記入してください。
 (1~4,999円は「0万円」、5,000~14,999円は「1万円」)
- 生命保険の受取金、退職金、不動産や株の売却代金、宝くじの当せん金などの一時的なものは含みません。

質問2

あなたは昨年1年間
 (2018(平成30)年
 1月~12月)に何らかの
 所得を受け取りましたか。

受け取った所得の種類ごとに
 金額を記入してください。

雇用者所得

01

--	--	--	--	--

万円

億 千 百 十 一

事業所得

02

--	--	--	--	--

万円

億 千 百 十 一

農耕・畜産
 所得

03

--	--	--	--	--

万円

億 千 百 十 一

家内労働
 所得

04

--	--	--	--	--

万円

億 千 百 十 一

財産所得

05

--	--	--	--	--

万円

億 千 百 十 一

1年分の所得金額がわからないときは、1か月の収入の1.2倍にボーナス分を加えるなどして、1年分の金額を計算して記入してください。

働いて得た所得

勤め先から受け取った給料、賃金、賞与(ボーナス)を合わせた税込み金額を記入してください。アルバイト等による所得も含まれます。

【参考書類】源泉徴収票 [原本又は写し]
 給与明細書
 確定申告書 [控]

事業(農耕・畜産以外)による収入(自家消費や贈与した分を含む。)から、仕入額、従業員に対する給与などの必要経費を差し引いた所得金額を記入してください。漁業・林業による所得を含みます。

【参考書類】確定申告書 [控]

農業や畜産業による収入(自家消費や贈与した分を含む。)から、肥料代、農薬代、家畜・家さんの購入費、雇い人の賃金などの必要経費を差し引いた所得金額を記入してください。

【参考書類】確定申告書 [控]

注文主からの委託を受けて、品物の製造や加工等(校正業務やワープロ入力などを含む。)を行って得た所得から必要な経費を差し引いた所得金額を記入してください。

財産による所得

家屋や土地を貸すことによって得た所得や、預貯金、公社債、株式などから得られた利子、配当金(源泉分離課税分を含む。)の合計額を記入してください。家や土地の売却代金、引き出した預貯金、生命保険・損害保険からの受取金を除きます。

【参考書類】確定申告書 [控]
 取引口座の通帳、配当金額収書など

給与所得者の方

⇒ 2018（平成30）年分 給与所得の源泉徴収票〔原本又は写し〕を参考にしてください。

平成 30 年分 給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者	住所又は居所	(受給者番号)
		(役職名)
		氏名 (フリガナ)
		名
種別	支払金額	給与所得控除後の金額
	内 千 円	所得控除の額の合計額
(源泉)控除対象配偶者の有無等	配偶者(特別)控除の額	控除対象扶養親族(配偶者を除く。)
有 従有	千 円	特 定 人 従 人 老 人 従 人 従 人 従 人 従 人
社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額
内 千 円	千 円	千 円

支払金額		
内	千	円

『雇用者所得』欄へ記入

確定申告を行った方

⇒ 2018（平成30）年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書〔控〕を参考にしてください。

税務専長 平成 30 年分の 所得税及び復興特別所得税の 申告書 B

住所 氏名 性別 年齢 職業 生年月日

収入金額等 所得金額

事業等	①	
農業	②	
不動産	③	
利子	④	
配当	⑤	
給与	⑥	
公的年金等	⑦	
その他	⑧	
短期	⑨	
長期	⑩	
一時	⑪	
事業等	①	
農業	②	
不動産	③	
利子	④	
配当	⑤	
給与	⑥	
公的年金等	⑦	
その他	⑧	
短期	⑨	
長期	⑩	
一時	⑪	
事業等	①	
農業	②	
不動産	③	
利子	④	
配当	⑤	
給与	⑥	
公的年金等	⑦	
その他	⑧	
短期	⑨	
長期	⑩	
一時	⑪	
事業等	①	
農業	②	
不動産	③	
利子	④	
配当	⑤	
給与	⑥	
公的年金等	⑦	
その他	⑧	
短期	⑨	
長期	⑩	
一時	⑪	

※ この様式は、申告書B 第一表です。

給 与	カ	
-----	---	--

『雇用者所得』欄へ記入

※ 申告書Aでは、給与㉞欄になります。

事業等	①	
農業	②	
不動産	③	
利子	④	
配当	⑤	

- ・ 事業（営業等）① ⇒ 『事業所得』欄へ記入
 - ・ 事業（農業）② ⇒ 『農耕・畜産所得』欄へ記入
 - ・ 不動産 ③
 - ・ 利子 ④
 - ・ 配当 ⑤
- ⇒ 『財産所得』欄へ記入

※ 申告書Aでは、配当は③欄になります。

【注意】 源泉分離課税された「利子」「配当」のあった方は、源泉分離課税分を含めた「利子」等も『財産所得』欄に記入してください。

質問 2 (つづき)

公的年金・恩給

06

--	--	--	--

万円

千 百 十 一

雇用保険

07

--	--	--	--

万円

千 百 十 一

児童手当等

08

--	--	--	--

万円

千 百 十 一

その他の
社会保障給付金

09

--	--	--	--

万円

千 百 十 一

仕送り

10

--	--	--	--

万円

千 百 十 一

企業年金

11

--	--	--	--

万円

千 百 十 一

個人年金等

12

--	--	--	--

万円

千 百 十 一

その他の所得

13

--	--	--	--

万円

千 百 十 一

公的年金・恩給による所得

国民年金、基礎年金、厚生年金（厚生年金基金からの年金を含む。）、共済年金、福祉年金、恩給などからの受取額を記入してください。【参考書類】年金振込通知書など

1支払期（2か月）分しか受給額がわからないときは、その金額を6倍するなどして、1年分の金額を記入してください。

公的年金・恩給以外の 社会保障給付金による所得

雇用保険法の失業等給付の受取額（教育訓練給付、育児休業給付、介護休業給付を含む。）を記入してください。

【参考書類】雇用保険受給資格者証

児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当、児童育成手当などの児童に関する社会保障給付金の受取額を記入してください。

生活保護法による扶助、医療保険による傷病手当金・出産手当金、労働者災害補償保険などその他法令に基づく支給金や高校生等奨学給付金などの支給金の受取額を記入してください。

仕送りによる所得

定期的又は継続的に送られてきた金品の額を記入してください。品物は、時価に換算した額を記入してください。

单身赴任者を送り出している世帯で、单身赴任者の口座から生活費等として定期的に引き出している場合は、その金額をこちらの欄に記入してください。

企業年金・個人年金等による所得

確定給付企業年金、確定拠出年金（企業型）、中小企業退職金共済等からの受取額を記入してください。

一時金として受給した給付（退職一時金等）は含みません。

生命保険会社・かんぽ生命・銀行・証券会社などの個人年金及び年金型商品、国民年金基金、農業者年金などからの受取額を記入してください。

厚生年金基金からの年金は、「公的年金・恩給」に記入してください。

その他の所得

上記以外の冠婚葬祭の金、各種祝い金、せん別、見舞金、臨時福祉給付金などの受取額を記入してください。

退職金、宝くじの当せん金などは含みません。

公的年金を受給している方

⇒ 年金振込通知書を参考にしてください。

年金振込通知書			
以下の金額を、ご指定の預貯金口座に振り込みます。 振り込みは平成 年 月から平成 年 月までの 振込です。（「振込予定日」は、裏面をご覧ください）			
年金の制度・種類			
基礎年金番号	年金コード		
受給権者氏名			
振込先			
各支払期の支払額、年金から控除される額※1および控除後振込額			
	平成 年 月 月からの 各期支払額	平成 年 月 月の 支払額	平成 年 月 月の 支払額
年金支払額	円	円	円
介護保険料額※2	円	円	円
※2	円	円	円
所得税額および復興特別所得税額	円	円	円
個人住民税額※2	円	円	円
控除後振込額	円	円	円

※1 裏面の「年金から特別徴収する保険料等」をご覧ください。

年金支払額 円 円 円

『公的年金・恩給』欄へ記入

※ 2018（平成30）年1年分の金額を記入してください。年金振込通知書は、1支払期（2か月）分が記入されています。

雇用保険を受給している方

⇒ 雇用保険受給資格者証をお持ちの方は、それを参考にしてください。

2018（平成30）年1月1日～12月31日の間に、ア～エの「失業等給付」の支給を受けた方は、その金額の合計を『雇用保険』欄へ記入してください。

- ア 求職者給付（基本手当、技能習得手当、寄宿手当、傷病手当、高年齢求職者給付金、特例一時金、日雇労働求職者給付金）
- イ 就職促進給付（就業促進手当、移転費、広域求職活動費）
- ウ 教育訓練給付（一般教育訓練給付金、専門実践教育訓練給付金、教育訓練支援給付金）
- エ 雇用継続給付（高年齢雇用継続給付、育児休業給付、介護休業給付）

雇用保険受給資格者証

（第1面）

1. 支給番号			
3. 被保険者番号	4. 性別	5. 年齢	
	8. 住所		
	9. 支払方法		
10. 資格取得年月日	11. 資格喪失年月日		
13. 60歳到達時賃金日額	14. 年齢		
16. 求職申込年月日	17. 求職開始年月日		
19. 基本手当日額	20. 所定給付日数	21. 通算被保険者期間	
	22. 離職前事業所名		
23. 再就職手当支給歴	24. 特殊表示（災害時、一括、巡相、市町村）		

19. 基本手当日額

『雇用保険』欄へ記入

※ 雇用保険（求職者給付の基本手当の場合）
2018（平成30）年1月1日～12月31日の間に実際に受給された日数に、基本手当日額を掛けた金額を記入してください。

【金額記入の注意】

万円未満は四捨五入して、万円単位で右づめに記入してください。
（1～4,999円は「0万円」、5,000～14,999円は「1万円」）

質問3

2018（平成30）年分の所得税の課税はありましたか。

あてはまる番号に○をつけ、
1に○をつけた方は金額も記入してください。

1 課税あり

所得税

					万		千円
--	--	--	--	--	---	--	----

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

2 課税なし

※ 不動産譲渡にかかる所得税は、除いてください。

【参考書類】

- * 2018（平成30）年分 給与所得の源泉徴収票 [原本又は写し]
- * 年金振込通知書
- * 2018（平成30）年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書 [控]

給与所得者の方

⇒ 2018（平成30）年分 給与所得の源泉徴収票[原本又は写し]を参考にしてください。

平成 30 年分 給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者	住所又は居所	(受給者番号)	
		(役職名)	
		氏名 (フリガナ)	
		名	
種別	支払金額	給与所得控除後の金額	源泉徴収税額
内	千	千	千
円	円	円	円
(源泉)控除対象配偶者	配偶者(特別)	控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)	16歳未満扶養親族の数
			障害者の数 (本人を除く。)
			非居住者である親族の数

源泉徴収税額		
内	千	円

源泉徴収税額を『所得税』欄へ記入

確定申告を行った方

⇒ 2018（平成30）年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書[控]を参考にしてください。

税務署長 平成 30 年分の 所得税及び復興特別所得税の 申告書 B

個人番号 ※個人番号は複写されません

フリガナ

氏名

性別 職業 住所・番号 世帯主の氏名 世帯主との続柄

生年月日 電話番号 (自宅・勤務先・携帯)

課税される所得金額 (②)	0	0	0
所得控除 (③)			
配当控除 (④)			
特定増収額等 (⑤)			
特定増収額等 (⑥)			
特定増収額等 (⑦)			
特定増収額等 (⑧)			
特定増収額等 (⑨)			
特定増収額等 (⑩)			
特定増収額等 (⑪)			
特定増収額等 (⑫)			
特定増収額等 (⑬)			
特定増収額等 (⑭)			
特定増収額等 (⑮)			
特定増収額等 (⑯)			
特定増収額等 (⑰)			
特定増収額等 (⑱)			
特定増収額等 (⑲)			
特定増収額等 (⑳)			
特定増収額等 (㉑)			
特定増収額等 (㉒)			
特定増収額等 (㉓)			
特定増収額等 (㉔)			
特定増収額等 (㉕)			
特定増収額等 (㉖)			
特定増収額等 (㉗)			
特定増収額等 (㉘)			
特定増収額等 (㉙)			
特定増収額等 (㉚)			
特定増収額等 (㉛)			
特定増収額等 (㉜)			
特定増収額等 (㉝)			
特定増収額等 (㉞)			
特定増収額等 (㉟)			
特定増収額等 (㊱)			
特定増収額等 (㊲)			
特定増収額等 (㊳)			
特定増収額等 (㊴)			
特定増収額等 (㊵)			
特定増収額等 (㊶)			
特定増収額等 (㊷)			
特定増収額等 (㊸)			
特定増収額等 (㊹)			
特定増収額等 (㊺)			
特定増収額等 (㊻)			
特定増収額等 (㊼)			
特定増収額等 (㊽)			
特定増収額等 (㊾)			
特定増収額等 (㊿)			
所得税及び復興特別所得税の額 (①)			
外国税額控除 (④)			

所得税及び復興特別所得税の額 (①+②)	②						
外国税額控除 (④)	④						

所得税額 = 所得税及び復興特別 - 外国税額控除
 ↓
 所得税の額 ②

『所得税』欄へ記入

※ 申告書Aでは、③と④の欄になります。

公的年金を受給している方

⇒ 公的年金から天引きされた方は、年金振込通知書を参考にしてください。

年金振込通知書

以下の金額を、ご指定の預貯金口座に振り込みます。振り込みは平成 年 月から平成 年 月までの各偶数月に行われます。(「振込予定日」は、裏面をご覧ください)

年金の制度・種類 年金

基礎年金番号 年金コード

受給権者氏名

振込先

各支払期の支払額、年金から控除される額^{※1}および控除後振込額

	平成 年 月 月からの各期支払額	平成 年 月 月の支払額	平成 年 月 月の支払額
年金支払額	円	円	円
介護保険料 ^{※2}	円	円	円
所得税額および復興特別所得税額	円	円	円
個人住民税額 ^{※2}	円	円	円
控除後振込額	円	円	円

所得税額および復興特別所得税額	円	円	円
-----------------	---	---	---

『所得税』欄へ記入

※ 2018（平成30）年1年分の金額を記入してください。年金振込通知書は、1支払期（2か月）分が記入されています。

【金額記入の注意】

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

質問 4

2019年度の住民税の課税はありましたか。

あてはまる番号に○をつけ、
1に○をつけた方は金額も記入してください。

1 課税あり

住民税

□	□	□	□	万	□	千円
---	---	---	---	---	---	----

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

2 課税なし

※ 住民税は、市町村（区）民税と道府県（都）民税の合計です。
不動産譲渡にかかる住民税は、除いてください。

【参考書類】

- * 2019年度 給与所得等に係る市町村（区）民税・道府県（都）民税
特別徴収税額の決定・変更通知書
- * 2019年度 市町村（区）民税・道府県（都）民税
税額決定・納税通知書

給与所得者の方

⇒ 給与天引き以外に住民税を納めている方は、次の「給与所得者以外の方」を参考にしてください。

2019年度 給与所得等に係る市町村（区）民税・道府県（都）民税特別徴収税額の決定・変更通知書を参考にしてください。

※ 様式は、各地方公共団体によって異なります。

平成 年度 給与所得等に係る市町村民税・道府県民税 特別徴収税額の決定・変更通知書（納税義務者用）

所得	給与収入 （この年の所得計）	主たる給与 以外の合算 所得区分	所得区分	所得金額	課税 総所得③	山林所得	退職所得	分離長期譲渡 株式等の譲渡	先物取引
所得控除	医療費	社会保険料	小規模企業共済	生命保険料	地震保険料	障害者 配偶者特別 控除	扶養 控除	基礎 控除	所得控除合計
所得	所得金額	所得控除	所得	所得金額	所得控除	所得	所得金額	所得控除	所得

税額控除特別徴収額①	税額控除②	所得割額③	特別徴収税額④	既充当額⑤	既納付額⑥	変更前税額⑦	増減額⑧（⑥-⑦）	変更
------------	-------	-------	---------	-------	-------	--------	-----------	----

受給者番号 氏名 指定番号
住所 宛名番号

平成 年 月 日 市町村長 氏名 印

3月分
4月分

特別徴収税額⑧

特別徴収税額⑧を『住民税』欄へ記入

給与所得者以外の方

⇒ 2019年度 市町村（区）民税・道府県（都）民税税額決定・納税通知書を参考にしてください。

※ 様式は、各地方公共団体によって異なります。

市町村民税・道府県民税 税額決定 通知書

第一号の三様

第 号	納税者	住所
平成 年度	氏名	
普通税	市町村民税	道府県民税
1 市町村民税及び道府県民税決定の明細		
均等	課税標準額	
所得	金額	円
山林所得	金額	
退職所得	金額	
短期譲渡	金額	
長期譲渡	金額	
一般株式等の譲渡	金額	
上場株式等の譲渡	金額	
先物取引	金額	
肉用牛の売却備蓄	金額	
小計	金額	
調整控除	金額	
配当控除	金額	
住宅借入金等特別税額控除	金額	
寄附金税額控除	金額	
外国税額控除等	金額	
配当割額又は株式等譲渡所得割額の控除	金額	
小計	金額	
市町村民税及び道府県民税の合計税額	金額	
給与から特別徴収の方法によって徴収する額の合計額	金額	

通知書の項目記載例：

「住民税額計」
「年税額」
「市町村（区）民税及び道府県（都）民税の合計税額」
「普通徴収と特別徴収の合計額」

円

記載されている額を『住民税』欄へ記入

【金額記入の注意】

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
（1～499円は「0千円」、500～1,499円は「1千円」）

質問5

2018（平成30）年分の社会保険料の支払いがありましたか。

医療保険（短期掛金）・年金保険（長期掛金）・介護保険・雇用保険のうち、ひとつでも支払いのあったときには、1に0をつけ、支払った金額も記入してください。ひとつも支払いがなかったときには、2に0をつけてください。

※ 保険料は、実際に支払った方が記入してください。

1 支払いあり

2 支払いなし

支払いのない方は、14ページにお進みください。

● 昨年1年間に支払った社会保険料の総額を記入してください。

記入のしかたは、11ページの【『社会保険料の総額』の記入のしかた】より、「給与所得者の方」又は「給与所得者以外の方」から選んで記入してください。

社会保険料の総額

01

千 百 十 一

万

千 円

千円未満は四捨五入して、千円単位で右つめに記入してください。

● 支払った保険料の内訳を記入してください。

記入のしかたは、12ページの【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】より「給与所得者の方」又は「給与所得者以外の方」から選んで記入してください。

内 訳

医療保険
(短期掛金)

02

千 百 十 一

万

千 円

千 百 十 一

年金保険
(長期掛金)

03

千 百 十 一

万

千 円

千 百 十 一

介護保険

04

千 百 十 一

万

千 円

千 百 十 一

雇用保険

05

千 百 十 一

万

千 円

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右つめに記入してください。(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

【『社会保険料の総額』の記入のしかた】

給与所得者の方

下の書類をお持ちですか。複数お持ちの方は1つを選んでください。

持っている方

源泉徴収票 [原本又は写し]

⇒ 参考資料①

確定申告書 [控]

⇒ 参考資料②

住民税の納税通知書

⇒ 所得控除欄の「社会保険料」

持っていない方

⇒ 12ページに進み、【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】を参考に、内訳を計算してから、内訳の合計を総額に記入してください。

給与所得者以外の方

下の書類をお持ちですか。複数お持ちの方は1つを選んでください。

持っている方

確定申告書 [控]

⇒ 参考資料②

住民税の納税通知書

⇒ 所得控除欄の「社会保険料」

持っていない方

⇒ 12ページに進み、【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】を参考に、内訳を計算してから、内訳の合計を総額に記入してください。

【注意】 昨年、年の途中で支払い方法を変更された方（例：納付書から給与天引きに変更）は、それぞれで支払った保険料の合計を記入してください。

参考資料①

給与所得者の方

⇒ 2018（平成30）年分 給与所得の源泉徴収票 [原本又は写し] を参考にしてください。

支払金額	源泉徴収後の金額	社会保険料等の金額	住民税	健康保険料	厚生年金保険料	雇用保険料	介護保険料	特別徴収税額
1	2	3	4	5	6	7	8	9

社会保険料等の金額		
内	千	円

『社会保険料の総額』欄へ記入

参考資料②

給与所得者の方

給与所得者以外の方

⇒ 2018（平成30）年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書 [控] を参考にしてください。

住所	個人番号	フリガナ	氏名	性別	職業	生年月日	社会保険料控除 ⑫
1	2	3	4	5	6	7	8

『社会保険料の総額』欄へ記入
※ 申告書Aでは、⑥欄になります。

【金額記入の注意】

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。

（1～499円は「0千円」、500～1,499円は「1千円」）

【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】

給与所得者の方

給与明細書をお持ちですか。

（給与から天引きされていない方は、右の「給与所得者以外の方」から選んでください。）

1年分を持っている方

⇒ 月々（ボーナス分を含む。）の給与明細書から、社会保険料の種類ごとに2018（平成30）年1年分の金額を合計して記入してください。

1か月分は持っていないが、1年分は持っている方

10ページの『社会保険料の総額』を記入した方

⇒ 計算式A

10ページの『社会保険料の総額』を記入していない方

⇒ 計算式B

給与所得者以外の方

保険料は、どのような方法で納付されましたか。

口座振替 又は 納付書（普通徴収）で納付された方

⇒ 納入（税）通知書又は各納付書から、国民健康保険料（税）、国民年金保険料、介護保険料の2018（平成30）年に納付した金額の合計を記入してください。

公的年金から天引き（特別徴収）で納付された方

⇒ 参考資料③ 年金振込通知書等から、医療保険料、介護保険料の2018（平成30）年に納付した金額の合計を計算してください。

- 【注意】
- ・ 昨年、年の途中で支払い方法を変更された方（例：納付書から給与天引きに変更）は、それぞれで支払った保険料の合計を記入してください。
 - ・ 40歳以上の方で、医療保険と介護保険の区別ができない場合は、医療保険にまとめて記入してください。
 - ・ 「厚生年金基金」の支払いは年金保険に含めますが、「国民年金基金」、「農業者年金」の支払いは、14ページの質問7「企業年金・個人年金等」に含めてください。

参考資料③

給与所得者以外の方

年金振込通知書

以下の金額を、ご指定の預貯金口座に振り込みます。振り込みは平成 年 月から平成 年 月までの各偶数月に行われます。（「振込予定日」は、裏面をご覧ください）

年金の制度・種類	年金		
基礎年金番号	年金コード		
受給権者氏名			
振込先			
各支払期の支払額、年金から控除される額 ^{※1} および控除後振込額			
	平成 年 月 月からの 平成 年 月 月までの 各期支払額	平成 年 月 月の 支払額	平成 年 月 月の 支払額
年金支払額	円	円	円
介護保険料額 ^{※2}	円	円	円
^{※2}	円	円	円
所得税額および復興特別所得税額	円	円	円
個人住民税額 ^{※2}	円	円	円
控除後振込額	円	円	円

介護保険料額 ^{※2}	円	円	円
^{※2}	円	円	円

以下のいずれかが印字
「国保保険料（税）額」
「後期高齢者医療保険料額」
「*****」

- ・ 介護保険料額
⇒ 『介護保険』欄へ記入
- ・ 国保保険料（税）額 又は 後期高齢者医療保険料額
⇒ 『医療保険(短期掛金)』欄へ記入

※ 2018（平成30）年1年分の金額を記入してください。年金振込通知書は、1支払期（2か月）分が記入されています。

計算式A

『社会保険料の総額』を記入した方

① 給与明細書から転記

(1) 1か月分の医療保険料 (短期掛金)	() 円	×	(6) ()	=	医療保険 (短期掛金)	02	() 円
(2) 1か月分の年金保険料 (長期掛金)	() 円	×	(6) ()	=	年金保険 (長期掛金)	03	() 円
(3) 1か月分の介護保険料	() 円	×	(6) ()	=	介護保険	04	() 円
(4) 1か月分の雇用保険料	() 円	×	(6) ()	=	雇用保険	05	() 円

計算後、千円未満は四捨五入して、千円単位で10ページに記入してください。

②

(5) 『社会保険料の総額』 ※10ページに記入した額と同じ金額

社会保険料の総額 01 () 千円 ÷ (1)~(4)を合計し、千円未満は四捨五入 () 千円 = (6) () 小数点第2位を四捨五入

計算式B

『社会保険料の総額』を記入していない方

①

給与の月数 (回数) () 回 + ボーナス月数 () 回 = (1) () 小数点第2位を四捨五入
(1年分のボーナスが給与の何か月に相当するか)

② 給与明細書から転記

(2) 1か月分の医療保険料 (短期掛金)	() 円	×	(1) ()	=	医療保険 (短期掛金)	02	() 円
(3) 1か月分の年金保険料 (長期掛金)	() 円	×	(1) ()	=	年金保険 (長期掛金)	03	() 円
(4) 1か月分の介護保険料	() 円	×	(1) ()	=	介護保険	04	() 円
(5) 1か月分の雇用保険料	() 円	×	(1) ()	=	雇用保険	05	() 円

計算後、千円未満は四捨五入して、千円単位で10ページに記入してください。

③

計算した『02 医療保険 (短期掛金)』から『05 雇用保険』の合計を千円単位で記入

社会保険料の総額 01 () 千円 ※ 10ページの『01 社会保険料の総額』欄へ忘れずに記入してください。

質問 6

2018（平成30）年度の固定資産税・都市計画税や自動車税等（自動車税、軽自動車税、自動車重量税）の課税はありましたか。

あてはまる番号に○をつけ、1に○をつけた方は金額も記入してください。

固定資産税
都市計画税

1 課税あり

2 課税なし

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

千 百 十 一

自動車税等

1 課税あり

2 課税なし

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

※ 事業用に支払っている税額は、除いてください。
名義人が否かにかかわらず、**実際に支払った方**が記入してください。

【参考書類】 2018（平成30）年度 固定資産税・都市計画税納税通知書
2018（平成30）年度 自動車税納税通知書、車検時の納品請求書等

質問 7

2018（平成30）年分の企業年金や個人年金等の掛金を支払いましたか。

あてはまる番号に○をつけ、1に○をつけた方は金額も記入してください。

企業年金

1 支払いあり

2 支払いなし

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

千 百 十 一

個人年金等

1 支払いあり

2 支払いなし

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

※ 掛金は、**実際に支払った方**が記入してください。
【企業年金の例】 確定給付企業年金・確定拠出年金（企業型）などの本人拠出分
【個人年金の例】 生命保険会社・かんぽ生命・銀行・証券会社などの個人年金や年金型商品
【その他】 国民年金基金、農業者年金、確定拠出年金（個人型）

質問 8

あなたは昨年 1 年間（2018（平成30）年1月～12月）に仕送りをしましたか。

定期的又は継続的に送った 1 年間の金品の額を記入してください。
品物は、時価に換算した額を記入してください。

あてはまる番号に○をつけ、1に○をつけた方は金額も記入してください。

1 仕送りをした

仕送りした金額

--	--	--	--

万円

千 百 十 一

万円未満は四捨五入して、万円単位で右づめに記入してください。
（1～4,999円は「0万円」、5,000～14,999円は「1万円」）

2 仕送りをしていない

※ 単身赴任者を送り出している世帯が、あなた（単身赴任者）の口座から生活費等としてその金額を引き出している場合も「1 仕送りをした」となります。

世帯主 又は 世帯を代表する方 は
引きつづき下の 質問 9 にもお答えください。

質問 9

現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。

あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1 大変苦しい

2 やや苦しい

3 普通

4 ややゆとりがある

5 大変ゆとりがある

ご記入ありがとうございました。

SAMPLE

国民生活基礎調査【貯蓄票】

(2019年7月11日調査)



調査員記入欄

地区番号		単位区番号		世帯番号	
------	--	-------	--	------	--

<記入上の注意>

- ・『(貯蓄票)記入のしかた』をよくお読みになってから記入してください。
- ・世帯主だけでなく世帯員全員の貯蓄、借入金の合計を記入してください。
- ・ここでいう貯蓄、借入金には、家計用だけでなく個人営業のための分も含めます。
- ・できるだけ黒のボールペンで記入してください。

この調査は、統計法に基づき国が実施する基幹統計調査です。
調査票情報の秘密の保護に万全を期していますので、ありのままを記入してください。

世帯主又は世帯を代表する方がお答えください。

質問1 あなたの世帯に以下に掲げる貯蓄はありますか(2019年6月末日現在)。

「1 貯蓄あり」「2 貯蓄なし」のいずれかに○をつけ、貯蓄がある場合は合計貯蓄現在高を記入してください。

- ゆうちょ銀行、銀行、信用金庫、農業協同組合などの金融機関への貯金
- (1) (預金)(通常貯金・普通預金、定額・定期貯金(預金)、積立貯金(預金)、当座預金等) 1 貯蓄あり 2 貯蓄なし
-
- 生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払い込んだ保険料(掛け捨ての保険は除きます。)
- (2) 【計算例】 1 貯蓄あり 2 貯蓄なし
- ・月々の払込み額×12(か月)×これまでに払い込んだ年数
 - ・年間の払込み額×これまでに払い込んだ年数
-
- 株式・株式投資信託(時価)
- (3) 債券(額面)、公社債投資信託(時価) } ※時価は 1 貯蓄あり 2 貯蓄なし
- 金銭信託・貸付信託(額面) } 6月末日で計算
-
- (4) その他の預貯金(財形貯蓄、社内預金等) 1 貯蓄あり 2 貯蓄なし

合計貯蓄現在高 万円

億 千 百 十 一

質問2 あなたの世帯の貯蓄現在高は昨年(2018(平成30)年6月末日)と比べて変わりましたか。あてはまる番号に○をつけ、貯蓄が減った場合は減少額、減少理由を記入してください。

- 1 貯蓄が増えた
- 2 貯蓄は変わらない
- 3 貯蓄が減った
- 減少額 万円
- 億 千 百 十 一

あてはまるすべての理由の番号に○をつけてください。

- 1 日常の生活費への支出
- 2 土地・住宅の購入費
- 3 入学金、結婚費用、旅行等の一時的な支出
- 4 株式等の評価額の減少
- 5 その他

質問3 あなたの世帯に土地・家屋の購入、耐久消費財の購入、教育資金等の生活のために必要な資金の借入金はありますか(2019年6月末日現在)。

あてはまる番号に○をつけ、借入金がある場合は合計借入金残高を記入してください。

1 借入金あり → 合計借入金残高 万円

2 借入金なし

億 千 百 十 一

ご記入ありがとうございました。